

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書の訂正報告書
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2018年9月18日
【会社名】	株式会社ワールド
【英訳名】	WORLD CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 社長執行役員 上山 健二
【本店の所在の場所】	兵庫県神戸市中央区港島中町六丁目8番1
【電話番号】	OFFICE 070-1256-0671
【事務連絡者氏名】	グループ常務執行役員 中林 恵一
【最寄りの連絡場所】	兵庫県神戸市中央区港島中町六丁目8番1
【電話番号】	OFFICE 070-1256-0671
【事務連絡者氏名】	グループ常務執行役員 中林 恵一
【縦覧に供する場所】	株式会社ワールド（東京支店） （東京都港区北青山三丁目5番10号）

1【臨時報告書の訂正報告書の提出理由】

海外市場（ただし、米国及びカナダを除く。）における当社普通株式の募集（以下「海外募集」という。）に関して、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第1項及び同条第2項第1号の規定に基づき、2018年8月22日付で臨時報告書を、同法第24条の5第5項及び同項において準用される同法第7条第1項の規定に基づき、2018年9月10日付で臨時報告書の訂正報告書を、それぞれ提出しておりますが、当該臨時報告書の記載事項のうち未定であった事項を2018年9月18日に決定いたしましたので、関係事項の一部を訂正するとともに、海外募集に係る英文目論見書及びその抄訳を提出するため、同法第24条の5第5項及び同項において準用される同法第7条第1項の規定に基づき、本臨時報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正内容】

訂正箇所は_____ 罫で示しております。

また、別添のとおり、海外募集に係る英文目論見書及びその抄訳を添付書類として提出いたします。

(2) 発行株式数（募集株式数）

（訂正前）

4,623,000株（予定）

（注） 海外募集と同時に、日本国内における当社普通株式の公募による自己株式の処分に係る募集（以下「国内募集」という。）が行われる予定であります。2018年8月22日開催の当社取締役会において決議された公募による自己株式の処分に係る募集株式総数（以下「公募総数」という。）は14,850,000株の予定であり、国内募集に係る募集株式数は10,227,000株、海外募集に係る募集株式数は4,623,000株の予定であります。その最終的な内訳は、公募総数の範囲内で、需要状況等を勘案した上で、2018年9月18日（発行価格決定日）に決定される予定であります。

（訂正後）

2,471,000株

（注） 海外募集と同時に、日本国内における当社普通株式の公募による自己株式の処分に係る募集（以下「国内募集」という。）が行われます。2018年8月22日及び2018年9月10日開催の当社取締役会において決議された公募による自己株式の処分に係る募集株式総数は14,850,000株であり、その内訳は、国内募集に係る募集株式数は12,379,000株、海外募集に係る募集株式数は2,471,000株であります。

(3) 発行価格（募集価格）

（訂正前）

未定

（需要状況等を勘案した上で、2018年9月18日に決定する予定である。）

（訂正後）

1株につき2,900円

(4) 引受価額

（訂正前）

未定

（需要状況等を勘案した上で、2018年9月18日に決定する予定である。なお、引受価額とは、当社が下記(11)記載の引受人より1株当たりの買取金額として受け取る金額をいう。）

（訂正後）

1株につき2,755円

（なお、引受価額とは、当社が下記(11)記載の引受人より1株当たりの買取金額として受け取る金額をいう。）

(7) 発行価額の総額

（訂正前）

未定

（訂正後）

6,091,015,000円

(13) 提出会社が取得する手取金の総額並びに用途ごとの内容、金額及び支出予定時期

(イ) 手取金の総額

(訂正前)

払込金額の総額	13,395百万円(見込み)
発行諸費用の概算額	20百万円(見込み)
差引手取概算額	13,375百万円(見込み)

払込金額の総額は、会社法上の払込金額の総額とは異なり、海外募集に際して当社に払い込まれる引受価額の総額であり、国内募集における仮条件(2,900円~3,200円)の平均価格(3,050円)を基礎として算出した見込額であります。

(訂正後)

払込金額の総額	6,808百万円
発行諸費用の概算額	20百万円
差引手取概算額	6,788百万円

払込金額の総額は、会社法上の払込金額の総額とは異なり、海外募集に際して当社に払い込まれる引受価額(2,755円)の総額であります。

(ロ) 用途ごとの内容、金額及び支出予定時期

(訂正前)

上記の差引手取概算額13,375百万円については、国内募集の差引手取概算額29,503百万円及び本件第三者割当(下記(16)(ロ)に定義する。)の手取概算額上限5,242百万円と合わせて、そのうち4,002百万円を2018年9月28日に、6,208百万円を2018年12月末までに、それぞれ優先株式の取得費用に充当する予定であります(なお、かかる取得費用には、2018年8月22日現在から上記各取得日までに増加する未払優先配当金相当額を考慮した金額となります。)

また、残額については、今後3年程度で、システム投資に10,083百万円、保証金流動化の終了に伴う建物賃貸人への保証金の差入れに3,392百万円、プリンシパルインベストメントとして当社が直接投資する戦略投資に10,000百万円、当社グループにおいて事業投資を行う株式会社W&Dインベストメントデザインの出資枠に10,000百万円をそれぞれ充当し、また2019年3月期に短期借入金の返済に4,434百万円を充当することを予定しております。

システム投資については、成長資金として、ファッションの全業務領域に渡ってフルカバーするデジタルソリューション事業強化のための投資及びファッションとテクノロジーが融合したファッションテックなどデジタル事業への投資に2019年3月期に4,599百万円、2020年3月期に3,879百万円、2021年3月期に1,606百万円をそれぞれ充当する予定であります。

当社グループでは、今後の成長のための戦略投資及び事業投資として、2019年3月期以降、株式会社ティンパンアレイの完全子会社化及び株式会社キャンプファイヤーへの出資等を実施してきております。当社は、アパレル以外の領域でのブランドの拡充やバリューチェーンの補強のため、今後も企業買収及び出資等を行う方針であり、2019年3月期、2020年3月期及び2021年3月期に、当社又は当社子会社による非アパレルやファッションテックに対する戦略投資に10,000百万円、当社グループにおいてアパレル事業への事業投資を行う株式会社W&Dインベストメントデザインの出資枠に10,000百万円を充当する予定であります。

なお、現時点において具体的に決定している新規の投資案件はなく、上記の戦略投資及び事業投資の総額が今後3年程度で約20,000百万円規模となること以外には案件数・案件規模も未定です。企業価値の向上に繋がる投資先が見つからないなどの理由により投資が実施されない場合には、店舗等への設備投資資金又は短期借入金の返済に充当する予定です。

短期借入金の返済については、財務体質を改善させることを目的に、2019年3月期に4,434百万円を充当する予定であります。当該借入金には、過去に実施した上記の戦略投資及び事業投資を目的とした借入金も含まれます。

なお、各用途の具体的な充当時期までは、安全性の高い金融商品等で運用する方針であります。

(訂正後)

上記の差引手取概算額6,788百万円については、国内募集の差引手取概算額33,974百万円及び本件第三者割当(下記(16)(ロ)に定義する。)の手取概算額上限4,984百万円と合わせて、そのうち4,002百万円を2018年9月28日に、6,208百万円を2018年12月末までに、それぞれ優先株式の取得費用に充当する予定であります(なお、かかる取得費用には、2018年8月22日現在から上記各取得日までに増加する未払優先配当金相当額を考慮した金額となります。)

また、残額については、今後3年程度で、システム投資に10,083百万円、保証金流動化の終了に伴う建物賃貸人への保証金の差入れに3,392百万円、プリンシパルインベストメントとして当社が直接投資する戦略投資に10,000百万円、当社グループにおいて事業投資を行う株式会社W&Dインベストメントデザインの出資枠に10,000百万円をそれぞれ充当し、また2019年3月期に短期借入金の返済に2,061百万円を充当することを予定しております。

システム投資については、成長資金として、ファッションの全業務領域に渡ってフルカバーするデジタルソリューション事業強化のための投資及びファッションとテクノロジーが融合したファッションテックなどデジタル事業への投資に2019年3月期に4,599百万円、2020年3月期に3,879百万円、2021年3月期に1,606百万円をそれぞれ充当する予定であります。

当社グループでは、今後の成長のための戦略投資及び事業投資として、2019年3月期以降、株式会社ティンパンアレイの完全子会社化及び株式会社キャンプファイヤーへの出資等を実施してきております。当社は、アパレル以外の領域でのブランドの拡充やバリューチェーンの補強のため、今後も企業買収及び出資等を行う方針であり、2019年3月期、2020年3月期及び2021年3月期に、当社又は当社子会社による非アパレルやファッションテックに対する戦略投資に10,000百万円、当社グループにおいてアパレル事業への事業投資を行う株式会社W&Dインベストメントデザインの出資枠に10,000百万円を充当する予定であります。

なお、現時点において具体的に決定している新規の投資案件はなく、上記の戦略投資及び事業投資の総額が今後3年程度で約20,000百万円規模となること以外には案件数・案件規模も未定です。企業価値の向上に繋がる投資先が見つからないなどの理由により投資が実施されない場合には、店舗等への設備投資資金又は短期借入金の返済に充当する予定です。

短期借入金の返済については、財務体質を改善させることを目的に、2019年3月期に2,061百万円を充当する予定であります。当該借入金には、過去に実施した上記の戦略投資及び事業投資を目的とした借入金も含まれません。

なお、各使途の具体的な充当時期までは、安全性の高い金融商品等で運用する方針であります。

(16) その他の事項

(訂正前)

(ロ) 海外募集と同時に、国内募集及び引受人の買取引受けによる国内売出しが行われる予定であります。かかる国内募集及び引受人の買取引受けによる国内売出しにあたっては、その需要状況等を勘案し、1,809,000株を上限として、野村證券株式会社が当社株主である合同会社ワイ・アール興産及び合同会社イー・エイチ興産から借入れる当社普通株式の日本国内における売出し(以下「オーバーアロットメントによる売出し」という。)が追加的に行われる場合があります。また、これに関連して、2018年8月22日開催の当社取締役会において、野村證券株式会社を割当先とする当社普通株式の第三者割当による自己株式の処分(以下「本件第三者割当」という。)を行うことを決議しております。

なお、当社は、上記の国内募集、引受人の買取引受けによる国内売出し及びオーバーアロットメントによる売出しについて、近畿財務局長に対して2018年8月22日付で有価証券届出書を、本日付で有価証券届出書の訂正届出書を、それぞれ提出しております。また、本件第三者割当についても、近畿財務局長に対して2018年8月22日付で有価証券届出書を、本日付で有価証券届出書の訂正届出書を、それぞれ提出しております。

(略)

(訂正後)

(ロ) 海外募集と同時に、国内募集及び引受人の買取引受けによる国内売出しが行われますが、かかる国内募集及び引受人の買取引受けによる国内売出しにあたっては、その需要状況等を勘案した結果、野村証券株式会社が当社株主である合同会社ワイ・アール興産及び合同会社イー・エイチ興産から借入れる当社普通株式1,809,000株の日本国内における売出し(以下「オーバーアロットメントによる売出し」という。)が追加的に行われます。また、これに関連して、2018年8月22日開催の当社取締役会において、野村証券株式会社を割当先とする当社普通株式の第三者割当による自己株式の処分(以下「本件第三者割当」という。)を行うことを決議しております。

なお、当社は、上記の国内募集、引受人の買取引受けによる国内売出し及びオーバーアロットメントによる売出しについて、近畿財務局長に対して2018年8月22日付で有価証券届出書を、2018年9月10日及び本日付で有価証券届出書の訂正届出書を、それぞれ提出しております。また、本件第三者割当についても、近畿財務局長に対して2018年8月22日付で有価証券届出書を、2018年9月10日及び本日付で有価証券届出書の訂正届出書を、それぞれ提出しております。

(略)

以上